

浄泉寺通信

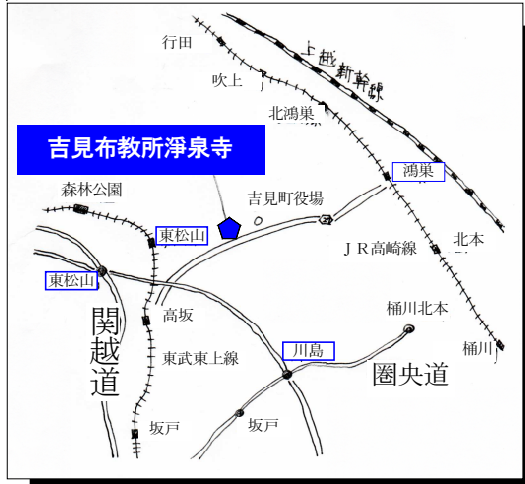
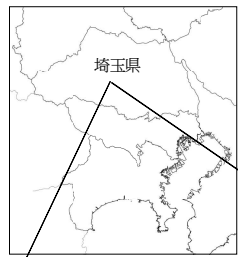
第1号(創刊号)
年4回発行
浄土真宗本願寺派
吉見布教所浄泉寺
埼玉県比企郡吉見町
久保田40-1
発行責任者 福井学

埼玉吉見町に本願寺派寺院

念仏の教えを広めよう

長年の夢が実現して、このたび7月1日に埼玉県比企郡吉見町に浄土真宗本願寺派吉見布教所浄泉寺(埼玉久保田40-1、福井学専従員)を開所することができました。これまで浄土真宗本願寺派東京首都圏都市開教対策本部、東京教区埼玉組の皆さまには数多くのご指導とご鞭撻をいただき、また門信徒の皆さまには数多くのご支援を頂戴し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この吉見布教所浄泉寺は浄土真宗本願寺派で最も新しい都市開教寺院です。都市開教とは首都圏や中京、京阪神の各都市圏に浄土真宗本願寺派の寺院を増やし、



吉見布教所浄泉寺

仏教に触れるご縁を少しでも増やしていこうという取り組みです。活動拠点を当初「布教所」と呼ぶのが特徴で、活動開始から数年で県庁から宗教法人の認証をいただく、つまり正式に「寺院」となるまでが一つの節目となります。宗教法人となるまで「布教所」と呼びますが、活動そのものは寺院が通常行う法要、行事と何ら変わりませんので、今後は当布教所の法要や行事にご家族、ご友人とご一緒にご参拝、ご参加いただき、親鸞聖人のお広めくださったみ教えにひとりでも多く出遇わせていただきますよう。

都市開教への熱意

ところで、このたび吉見布教所浄泉寺の専従員となられたわたくし福井学は、富山県中新川郡上市町にあります浄泉寺で育った、亥年生まれの本年40歳です。富山県立富山中部高校を卒業後、大阪大学人間科学部に進学し、青木保教授(のちの文化庁長官)のもと文化人類学(とくにインド民族運動)を専攻しました。大学卒業後はNHK(日本放送協会)に就職し、ニュースカメラマンとして奈良、大阪の各放送局に六年間勤務し、国内、海外で取材を経験しました。多忙な日々を過ごしていたところ、いまも尊敬するひとりの老僧に西本願寺でお会いしたのがきっかけで、「親鸞聖人の教えを



福井学専従員(40)

もつと学びたい」と本願寺の門をたたきました。とてもおだやかなお顔をされた老僧で、仏法に出遇えた喜びがその小さなお体からあふれているような方でした。仏教の教えは難解だと思いつつ、仏教の勉強から遠ざかって仕事に忙殺されていったわたしは、「阿弥陀如来がわたしになんとかお念仏をとえさせようと、これでもかと手を回して、この老僧と引き遇わせてくださったのかもしれない」と見えないご縁を感じて退職を決め、まず本願寺派の声明(おつとめの源流)を学ぶ勤式指導所で一年間学んだ後、浄土真宗本願寺派宗務所(京都市下京区)職員となりました。配属された式務部(本願寺派声明の専門部署)で研鑽を積むなかで、都市開教に貢献したいと次第に考えるようになっていきました。ちよつと長文になりましたので、都市開教に向けたわたしの思いの続きは次号でまた書きたいと思っています。(文責 福井学)

浄土真宗の御本尊は阿弥
陀如来です。阿弥陀如来
は西方極樂浄土の仏で、
その語源はサンスクリッ
ト語のアミタを音写した
語で、略して弥陀ともい
います。アミタは「無量
なる」とい
う形容詞で、

阿弥陀如来

本来はアミ
ターバ (Amiti
tabha 無量光) またはア
ミターユス (Amitayus 無
量寿) といいました。ア
は否定をあらわし、光が
量ることができないほど
多い、寿命が量ることが
できないほど長い、とい
う意味になります。浄土

真宗の根本經典である仏
説無量寿經 (大經ともい
います) にありますよう
に、阿弥陀如来が法蔵菩
薩であったとき、一切の
生きとし生けるものをす
くいとるといふ願い (本
願) をたて、思
惟と修行を重ね、
願いを成就され
如来となられま

東日本大震災物故者初盆法要並びに盂蘭盆会法要

東日本大震災物故者初盆
法要ならびに盂蘭盆会法
要を厳修いたします。地
震発生から5ヶ月にあた
る日、地震発生時刻の14
時46分からです。浄土真

宗門信徒だけでなく、ど
なたさまもこのご縁に是
非お参りください。

■ 8月11日(木)

14時46分より

■ 吉見布教所浄泉寺にて

親鸞聖人750回大遠忌法要 コーラス参拝のぞ案内

西本願寺の御影堂で、一
緒に仏教讃歌を合唱しま
せんか? 当寺へ合唱の講
師をお招きして練習を重
ね、親鸞聖人750回大遠忌
法要「記念「本願寺音御堂」
に参加する計画を進めて
おり、一緒にご参加くだ
さる方を募集してありま
す。本番の開催は、

讃斉唱

■ 楽譜 『親鸞聖人750回大
遠忌法要記念 本願寺音
御堂』、経本 『宗祖讃仰
作法 音楽法要』をお持
ちください

■ 本山への往復は、実費
を各自ご用意願います

■ 練習日は不定期ですか
ら調整して早めにご連絡
いたします。その他、お
問い合わせください。TEL
0493548803

■ 11月8日(火)10時から

■ 西本願寺 御影堂にて

■ 音楽礼拝、合唱、恩徳

■ 数台ですが駐車場があ
ります

■ 東武東上線東松山駅ま
たはJR高崎線鴻巣駅ま
でお迎えに参りますので、
あらかじめお電話くださ
い

■ 法要 阿弥陀経作法

■ 法話 当寺専従員

■ 引続きわらび餅接待
(築地本願寺 日本料理紫
水謹製)



友人のデザイナーに浄泉寺の口
グマークを作っていたきました。
埼玉の地に大樹のように根を
張り、青々とした葉のもとには
いつも多くの人々が集うお寺に
したい。そんな願いを込め、デザ
インをお願いしました。デザイン
された木の枝はひとりひとりの
人を表し、互いにコミュニケーショ
ンをとって、人の輪が繋がりがつ
ていく交流の場としてのお寺を、
太い根は浄泉寺が地域に根を
張り、つながりを深める結びつ
きの場としてのお寺を、そして
青いグラデーションはキラキラと
水面に映る太陽光を表し、木
漏れ日のように暖かくて優しい
安らぎの場としてのお寺を、そ
れぞれ表現しています。